



NPO法人応用斜面工学研究会主催

「斜面の地形・地質の工学的な見分け方と 防災・減災上の対応の仕方」

全5回【オンライン】



土木学会 CPD 認定(予定)

開催日時 2022年10月25日(火)～11月24日(木)16:00～17:00

開催場所 オンライン (Zoom)

講 師 稲垣 秀輝 氏 (株式会社 環境地質 代表取締役)

講座内容 第1回 10/25 (火) 16:00～17:00

Q1-1 既往不適格擁壁（2段擁壁）は危ないか

Q1-2 崩壊した崖の対応方法（調査時・設計対策時・維持管理時）は何ですか

第2回 11/1 (火) 16:00～17:00

Q1-3 地盤崖の裁判事例－擁壁のクラックの評価－

Q1-4 地盤の裁判はどうして起るのか？－崖近くの平地編－

第3回 11/8 (火) 16:00～17:00

Q1-5 都市内の崖を含む危険な箇所を想像する

Q1-6 崖がどうしてできたかを考える

第4回 11/16 (水) 16:00～17:00

Q1-7 土砂災害防止法のレッドゾーン・イエローゾーンは崖ハザードマップに使えるか？

Q1-8 自然災害伝承碑の使い方は？

第5回 11/24 (木) 16:00～17:00

Q1-9 地すべりの見分け方と対応の仕方は？

Q1-10 土石流の見分け方と対応の仕方は？

対象者 初学者（若手技術者、学生など）だけでなく、ベテランの方も歓迎します。

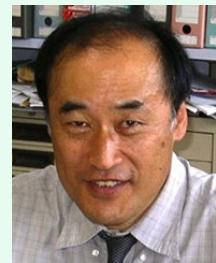
定員 50名 定員になり次第締め切ります。 **当講習では、賛助会員の参加人数に制限はございません。**

参加料 会員：無料

非会員：15,000円（この機会に入会される方は入会金及び会費に充当いたします。）

その他 原則、全日程のご受講をお願いしております。ご事情により欠席の回がある方は、申込フォームに欠席予定の回を入力する欄を設けておりますのでご入力願います。

講師 稲垣 秀輝 氏 (株式会社環境地質 代表取締役)



〈プロフィール〉

1954年 滋賀県生まれ

1979年 東京大学理学系大学院地質修士修了、同年 応用地質株式会社入社

1991年 株式会社環境地質創業

2004年 博士（工学）取得

2014年 株式会社環境地質サービス併設創業

2014年～2017年 京都大学防災研究所非常勤講師

2017年～ 山梨大学非常勤講師。

この間、日本の主たる自然災害を現地調査し、学会講演、学術論文の発表を行ってきた。現在、技術士資格を総合技術監理・応用理学・建設・森林の4部門で取得。専門分野は環境地質学

〈書籍等出版物〉

【土木学会】『家族を守る斜面の知識』『火山工学入門』『火山工学入門 応用編』『実験で学ぶ土砂災害』『知っておきたい斜面のはなし Q&A Part 1, 2』『噴火災害に備えて』

【建築関係他】『防災・環境・維持管理と地形地質』『役立つ地盤リスクの知識』『地盤調査の方法と解説』『法律家・消費者のための住宅地盤Q&A』

【日本応用地質学会】『原点からみる応用地質学－その理論と実用』『応用地形セミナー空中写真判読演習』『土砂災害の疑問 55』

【地盤工学会】『もし大震がきたら・47都道府県危険度マップ』『地震に負けない地盤がわかる本』『地質・地盤系実務者のための探査・調査法ガイド』

書籍（33冊、共著含む）、学術論文（102編）、研究発表（202編）

〈学協会委員・表彰・他〉

地盤工学会地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会委員長、日本応用地質学会環境地質研究部会長、災害地質研究部会長、土木学会斜面工学研究小委員会副委員長、同火山工学研究小委員会副委員長、日本地すべり学会出版委員会委員、同解説委員、日本技術士会企画委員、同倫理委員、同広報委員、応用理学部会副部会長などの要職を歴任

日本応用地質学会論文賞、日本地すべり学会技術報告賞、地盤工学会平成30年度事業企画賞、技術士会会长表彰など表彰多数。市民向けのシンポジウム・フォーラムでの講演多数

その他に、地盤関連の裁判での鑑定・意見書作成なども多数

申込方法

お申込はQRコード



または申込フォーム <https://forms.gle/TWszgGRg665EZNiQA>

研究会HPからもお申込みいただけます。

申込期限

10月21日(金)

研究会HP QRコードはコチラ →



問い合わせ先 ☐ office@oyoslope.jp (事務局 宮本)